

迫り来る巨大地震

地震は、突然やってくる自然現象の1つです。いつどこで地震が発生するかは予測できません。いつ起きるかわからないという状況でも、有事の際にはすぐに行動できるよう準備をしておく必要があります。地震が発生するかもしれないという不安や恐怖心を感じることはありますが、適切な準備をしておくことで、被害を最小限に抑えることができます。そこで、今月号と来月号にわたり、迫り来る巨大地震の危険性や地震への備えについてご紹介します。この機会に改めて地震について考えてみましょう。



熊本地震で倒壊した家屋



熊本地震で倒壊したブロック積



中越沖地震で崩れ落ちた瓦



東日本大震災で津波に襲われた地域

南海トラフとは、私たちが住んでいる日本列島が位置するユーラシアプレートの下に、フィリピン海プレートが南側から沈み込んでいる場所で、静岡県駿河湾から紀宝町の沖合いを経て宮崎県の日向灘まで伸びています。

この南海トラフでは、フィリピン海プレートが、年間数センチ程度の速度でユーラシアプレートの下に沈み込んでいます。このとき、ユーラシアプレートが下方向に引きずり込まれ限界に達したときにユーラシアプレートが跳ね上がり、この跳ね上がり「南海トラフ地震」です。

三重県内でも、大きな揺れと津波にみまわれた過去があり、昭和19年12月7日には、熊野灘を震源とするマグニチュード7.9の「東南海地震」が発生し、激しい揺れとともに、地震発生後短時間で熊野灘沿岸を中心とした市町村に最大9メートルの大津波が襲いかかり、甚大な被害を及ぼしました。

そして、今再び恐ろしい巨大地震と津波が発生する危険性が高まっています。

早ければ6分で津波が来襲

南海トラフ地震が発生した場合、紀宝町では、最大で震度7の揺れが予想されています。震度7の揺れは、立っていることができず、はわないと動くことができない揺れです。

そして、早ければ6分で浸水深30センチメートルの津波が到達します。30センチメートルの津波でも、足元がすくわれ押し倒されてしまうぐらいの威力を持ちます。

また、これは揺れはじめてからの時間であり、揺れが3分間続くと想定すると、残り3分で安全な場所まで逃げなければ、津波に飲み込まれてしまうということです。

突然襲ってくる地震からあなたと大切な人の命を守るためには、地震についての情報を理解し、正しい知識を身に付けたうえで、いざというときには迅速に避難や安全確保するなど、適切に行動することが大切です。そのために、いま私たちができることから始めましょう。